

授業科目名・形態	保健医療論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石岡和志・阿部俊彦	実務経験の有無	無	開講期	3年前期

【授業の主題】

相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬に関する内容を含む。）や保健医療サービスについて学び、保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種連携・協働について理解する。

【到達目標】

- (1) 医療保険制度や診療報酬制度について説明できるようになる。
- (2) 保健医療サービスの現状及び診療報酬・介護報酬について説明できるようになる。
- (3) 保健医療サービスにおける専門職の連携・協働の意義について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション 医療保険制度の概要
- 第2回 医療保険制度の概要、国民医療費の内訳・動向
- 第3回 保健医療サービスを提供する施設とシステム(1)
- 第4回 保健医療サービスを提供する施設とシステム(2)
- 第5回 保健医療サービスを提供する施設とシステム(3)
- 第6回 保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割(1)
- 第7回 保健医療サービスにおける医療ソーシャルワーカーの役割(2)
- 第8回 保健医療サービスの提供と経済的保障(1)
- 第9回 保健医療サービスの提供と経済的保障(2)
- 第10回 保健医療サービスの専門職の役割(1)
- 第11回 保健医療サービスの専門職の役割(2)
- 第12回 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践(1)
- 第13回 保健医療サービスにおける専門職の連携と実践(2)
- 第14回 保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクタを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式（スライド、映像等）で行う。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを適宜実施する。

【授業準備】

社会福祉士国家試験必須科目である、授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおくこと。

【主な関連する科目】

社会保障論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画

【教科書等】

社会福祉士養成講座編集委員会編：新・社会福祉士養成講座 17 保健医療サービス，中央法規，2017

【参考文献】

特になし，テキスト以外で必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験（70%），レポート提出や授業への取り組み姿勢（30%）で総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

予習と復習を行うことで科目の理解度を深めるように。保健・医療・介護・福祉の各制度は，相互に関連しながら機能していることから，各制度に関心を持ち，制度間の関連に着目しながら主体的に学習すること。